

めぶき東アジアレポート

MEBUKI EAST ASIA REPORT

Shanghai / Hong Kong / Taiwan

2020年5月号

◇ 【 上海通信 】	中国のキャッシュレス決済環境	1
◇ 【 香港通信 】	香港 REIT (不動産投資信託)	3
◇ 【 ニューストピックス 】	2020年3月~4月の動き	5
◇ 【 東アジア駐在員コラム 】	香港における新型コロナウイルスへの対応状況	7
◇ 【 株式市場・為替情報 】		8
◇ 【 めぶき FG アジアネットワークのご紹介 】		9
◇ 【 めぶき FG イベント情報 】		11

常陽銀行上海駐在員事務所

上海市長寧区延安西路 2201 号
上海国際貿易中心 1901 室
TEL : +86-21-6209-0258
E-mail : joyosh@uninet.org

足利銀行香港駐在員事務所

Suite 1601, 16/F, Tower 2 The Gateway
Harbour City, Tsim Sha Tsui, Kowloon, HK
TEL : +852-2251-9475
E-mail : hongkongrep@ashikagabk.com.hk

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願いいたします。



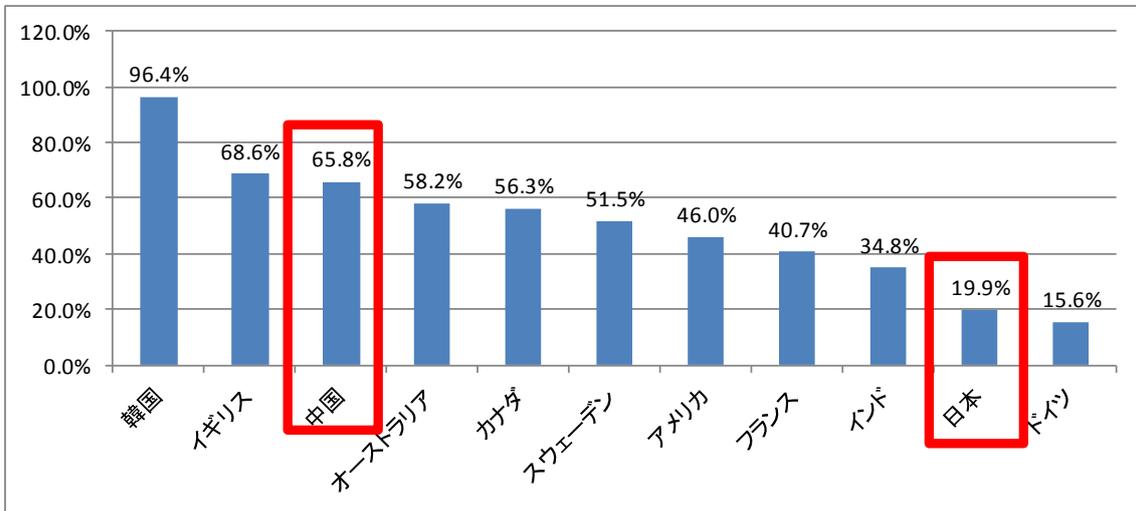
上海通信

—中国のキャッシュレス決済環境—

1. 日本におけるキャッシュレス決済の現状と目標

経済産業省によるキャッシュレス決済の定義は「物理的な現金（紙幣・硬貨等）ではなく、デジタル化された価値の移転を通じて活動できる状態」であり、主な支払手段としてクレジットカード・デビットカード（接触型）、電子マネー（非接触型）、QRコード等（コード型）が挙げられています。下表の通り、本邦のキャッシュレス決済比率は約2割と中国などの主要各国に大きく水をあけられています。政府は2025年までに4割程度、将来的には世界最高水準の80%を目指す目標を掲げています。

【図表1】各国のキャッシュレス決済比率（2016年）



（出所）一般社団法人キャッシュレス推進協議会「キャッシュレス・ロードマップ2019」

2. 中国におけるキャッシュレス決済

中国におけるキャッシュレス化の進展は、2002年に誕生した「Union Pay（銀聯）」が最初のけん引役となりました。デビットカード機能（接触型）を中心に利用が広がり、現在ではVISA、MASTERなどと並ぶ国際クレジットカードブランドのひとつに成長しています。2014年頃にはスマートフォンを利用したモバイル決済（QRコード型）が登場し、急拡大を遂げました。現在、上海など中国の大都市ではモバイル決済比率が体感的に9割を超えており、日常生活で現金の授受を目にすることはほとんどありません。中国でここまでモバイル決済が浸透したのは、スマートフォンが普及している（2017年時点で全人口の97.5%）ことに加え、偽札の流通割合が高いことや券面の汚損が激しいことから、現金に対する信頼性が低いことが要因に挙げられます。また、これまで店舗等では決済専用端末の導入が必要でしたが、モバイル決済ではスマートフォン同士で決済することも可能になりました。こうして中小・零細事業者への道が開けたことも、中国で大きくキャッシュレス化が進展した要因と言えます。

3. 中国の2大プラットフォーム

中国のモバイル決済をリードする大手 IT 企業 2 社のサービスについて紹介します。

(1) Alipay (支付宝)

アリペイは浙江省杭州市に本社を置くアリババ社が運営する QR コード決済サービスで、中国最大の電子商取引 (EC) モール「淘宝 (タオバオ)」の消費者不安に対処するエスクロー機能 (取引時に代金と商品受渡の安全を保障する仲介サービス) として 2004 年 12 月に誕生しました。現在では決済サービスのほか、公共料金の支払、タクシーやホテルの予約や映画チケットの購入など、生活に関わる様々なサービスを一元的に提供している点が特徴です。また、利用実績などのデータを利用して個人信用評価を算定する「芝麻信用」、信販会社のサービスに類似した分割・後払機能を持つ「花呗」といった各種サービスのほか、理財商品 (投信に類似した金融商品) や保険商品なども購入できます。

(2) WeChat Pay (微信支付)

広東省深圳市に本社を置くテンセント社は、中国版 LINE とも言われるメッセージアプリ「WeChat (微信)」を 2011 年にリリース、続いて 2013 年にモバイル決済サービスとしてウィーチャットペイ (微信支付) を開発しました。本サービスは個人間送金を中心に発展してきましたが、アリペイ同様に個人の消費生活を丸ごと囲い込む様々なサービスが付加されたことでユーザー数 7.8 億人の国民的アプリに成長、アリババ社との激しい決済シェア争いが繰り広げられています。

【図表 2】中国の決済サービス概況 (2017 年)

サービス名	WeChat Pay (微信支付)	Alipay (支付宝)
ユーザー数	7.8 億人	6.3 億人
加盟店数	(国内) 約 150 万店 (海外) 13 ヶ国・地域、約 13 万店	(国内) 約 200 万店 (海外) 30 ヶ国・地域、約 20 万店
決済額	6 兆 3,500 億人民元 (約 96 兆円)	

(出所) 中国人民銀行レポート、中国支付清算協会、総務省「情報通信白書」

4. まとめ

中国がモバイル決済分野で世界的な先進国となった背景には、中国大手企業による顧客目線に立った多様なサービス提供と日常生活のあらゆる場面で資金決済が可能となる高い利便性がありました。一方、本邦では人口減少・少子高齢化の進展により、あらゆる産業で生産性の向上が喫緊の課題となっています。モバイル決済などによるキャッシュレス化の推進によって、店舗等におけるオペレーションの効率化やビッグデータ活用による消費活性化に加え、消費生活全般のあらゆるサービスを一括で提供することによる顧客囲い込みなど、決済に付随した様々な経営戦略を立案することも可能です。キャッシュレス分野では本邦の遙か先を行く中国の取組から学ぶべき点が多くあるように思えてなりません。

(常陽銀行上海駐在員事務所 主任駐在員 青柳暢幸)

香 港 通 信

－香港 REIT（不動産投資信託）－

今月は、香港 REIT の概要と動向についてレポートいたします。

1. 香港 REIT

(1) 概要

香港 REIT は、上場数 11 銘柄、時価総額 2,310 億香港ドル（約 3.2 兆円）と、アジアで日本、シンガポールに次ぐ大きな市場です。

投資地域は、香港のみに留まらず、約 2 割の資金が中国本土の不動産へ投資されています。中国に公募 REIT が存在しないこともあり、香港 REIT は中国外の投資家にとって、中国不動産投資の受け皿にもなっています。

上場する 11 銘柄のうち、LINK REIT が最大で、香港 REIT 時価総額の約 6 割を占めていることも特徴です。次項にて LINK REIT について解説いたします。

【図表1】 香港REIT一覧

単位：10億香港ドル、10億円

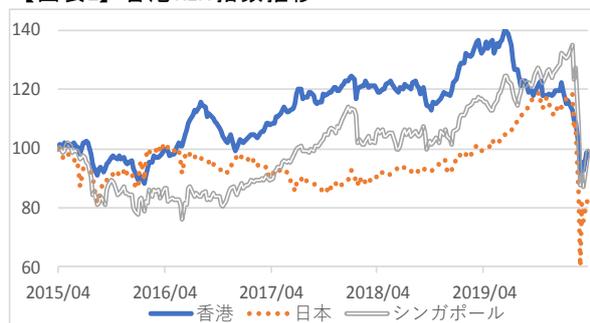
銘柄	上場年月日	時価総額(日本円換算)	投資地域	投資対象
LINK REIT	2005/11/25	141.9 (1986.60)	香港・中国	商業施設、駐車場、オフィスビル
CHAMPION REIT	2006/05/24	26.9 (376.60)	香港	オフィスビル
HUI XIAN REIT	2011/04/29	14.5 (203.00)	中国	商業施設、駐車場、オフィスビル、住居施設
FORTUNE REIT	2010/04/20	13.8 (193.20)	香港	商業施設、住居施設
YUEXIU REIT	2005/11/21	11.9 (166.60)	中国	商業施設
SUNLIGHT REIT	2006/12/21	6.4 (89.60)	香港	商業施設、オフィスビル
REGAL REIT	2007/03/30	4.5 (63.00)	香港	ホテル、住居施設、商業施設
PROSPERITY REIT	2005/12/16	3.7 (51.80)	香港	商業施設、オフィスビル、産業施設
SPRING REIT	2013/12/05	3.4 (47.60)	中国・英国	オフィスビル、駐車場
CMC REIT	2019/12/10	3.1 (43.40)	中国	商業施設、オフィスビル
NEW CENT REIT	2013/07/10	0.9 (12.60)	中国	ホテル

出所：香港証券取引所公表より香港駐在員事務所にて作成（時価総額は2020.4.16時点、1香港ドル=14円にて算出）

(2) 動向

世界的な金融緩和と香港の不動産需給逼迫¹を背景に、香港 REIT の上昇も続いていましたが、2019年6月をピークに香港における抗議活動の影響を受け、15%程度下落しました。その後も、2020年2月に新型コロナウイルスの感染が拡大し、大きく値下がりしています。足元では、割安感や政府の支援策、比較的感染が抑制できていること等から持ち直しの動きが見られます。

【図表2】 香港REIT指数推移



出所：investing.comより香港駐在員事務所にて作成

※2015年4月末を100として指数化

※香港リターンデックス指数、東証REIT指数、S&Pシンガポールリート指数を利用

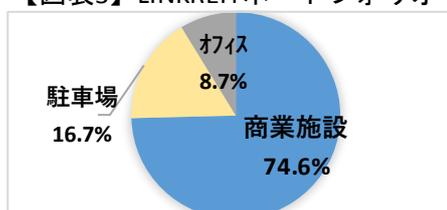
¹ 香港の不動産需給逼迫…土地に限りがあり供給不足であること、中国本土からの投資が旺盛であることから、右肩上がりの上昇が続き、2003年から2019年にかけて、オフィスの平均売買価格は7倍、平均賃貸価格は3～5倍に上昇した。

2. LINK REIT

(1) 概要

ポートフォリオを見ると、商業施設が74.6%と大部分を占めますが、商業テナントの6割超は食品関係であり景気変動の影響を受けにくい特徴があります。投資地域別には、香港86.1%、中国約12.3%、その他1.6%です。

【図表3】LINKREITポートフォリオ



出所：当社公表値より香港駐在員事務所にて作成

(2) 価格推移

香港REIT指数同様に、LINKREITも右肩上がりの上昇を続けていましたが、香港における抗議活動と新型コロナウイルスの感染拡大により、大きく値を下げました。他の商業REITとの比較では、食品等生活密着型のテナントが多く影響は軽減されていますが、インバウンドを含めた消費の低迷や香港全体における商業施設の空室率上昇、一部のテナントへの賃料猶予などから厳しい局面が続いています。

【図表4】LINKREIT価格推移



出所：investing.comより香港駐在員事務所にて作成

(3) 注目点

足元では、香港は新型コロナウイルスの感染拡大の抑制に成功し、経済活動が徐々に再開しています。また、香港・中国間の出入境制限の緩和も検討されており、人の往來の再開も見込まれています。2020年9月に立法議会選挙が予定されており、市民の民主意識の高まりから抗議活動が再開されることも予想されますが、警察が警戒を強めていることや暴力や破壊行為に反対する市民も多いことから、社会の混乱は限定的と見込まれます。

下落要因となった抗議活動や新型コロナウイルスに対する不安が軽減されれば、割安感もあることから、価格の回復が期待されています。

しかし、これまで中国の旺盛な投資・消費意欲を取り込むことで成長を続けてきた香港が、今後も従前同様の成長を維持するためには、中国経済の成長や中国人観光客の回復、香港の金融市場としてのプレゼンスの維持が必要であり、中国経済動向や新型コロナウイルス、抗議活動で生じる社会の変容が注視されています。

(足利銀行香港駐在員事務所 駐在員 鈴木庸之)

ニューストピックス

○経済

- ・ 中国、新型コロナで追加刺激策＝法人税下げや中小企業支援など (3/23)
- ・ 香港、1～2月の輸出、12%減、新型コロナが影響－香港統計局 (3/27)
- ・ 新エネルギー車 (NEV) の補助金、中国2年延長 (4/1)
- ・ 香港、2月の小売売上高は前年同期比44%減 (4/1)
- ・ 台湾上場企業の純益11%減＝19年12月期 (4/2)
- ・ 香港・高級オフィス賃料、8.3%下落＝空室率は10年ぶり高水準－1～3月 (4/9)
- ・ 3月の台湾輸出、0.6%減＝電子部品は過去最高 (4/9)
- ・ 3月の中国消費者物価4.3%上昇＝5カ月ぶり低水準 (4/10)
- ・ 香港政府、従業員給与の半額補助＝1.9兆円の追加財政出動 (4/10)
- ・ 上場企業の3月売上高、前年比4.3%減＝台湾 (4/14)
- ・ 3月の中国輸出、6.6%減＝新型コロナで外需不振 (4/15)
- ・ 今年の世界成長、マイナス3%＝「大恐慌以来の不況」－IMF (4/15)
- ・ 中国人民銀、MLF1物金利0.20%引き下げ＝LPRも引き下げ見通し (4/15)
- ・ 国際通貨基金 (IMF)、香港GDP成長率見通し実質でマイナス4.8%と予測 (4/16)
- ・ 3月の対中投資、14%減＝新型コロナが影響 (4/16)
- ・ 中国、初のマイナス成長＝6.8%減、新型コロナ打撃－1～3月期 (4/17)

○金融

- ・ 中国、最優遇貸出金利 (LPR) 1年物を4.05%に据え置き (3/23)
- ・ 人民銀、今年3回目の預金準備率下げ＝地域金融機関の資金繰りに危機感 (4/7)
- ・ 中国企業のドル建て債、試練に直面＝新型コロナで不履行リスク急上昇 (4/7)
- ・ 香港金融管理局、預金準備を半減へ＝2,000億香港ドル供給 (4/7)
- ・ 3月末の中国外貨準備高、3兆606億ドル＝前月比461億ドルの大幅減 (4/8)
- ・ AIIB、中国に380億円の緊急融資＝新型コロナ対策で (4/8)
- ・ 甘肅銀行で預金取り付け騒ぎ＝株価急落で不信感 (4/10)
- ・ 中国、海外勢による国内生保の買収容認へ＝M&Aの呼び水となる可能性 (4/10)

○労務

- ・ 日系企業、フル稼働は6割に＝新型コロナ警戒、増産は慎重姿勢－華東地域 (4/14)
- ・ 華南日系企業、「駐在員全員復帰」は4割以下＝ジェトロのコロナ影響調査 (4/16)
- ・ アジアの求人数、1～3月は大幅減＝中国61%減、香港25%減－JAC調査 (4/17)

○社会

- ・ 中国、ビザの効力停止＝新型コロナ流入阻止で入国制限 (3/27)
- ・ 中国、中小・零細企業の増値税減免へ＝新型コロナ対策で (3/30)
- ・ 香港、コメなどまた買い占め、スーパーが販売制限 (3/30)
- ・ アフリカ豚コレラ、1～3月も中国で感染6件＝終息見通せず (4/3)
- ・ 香港政府、非居住者の空路入境禁止を継続 (4/7)

- ・ 越境ドライバーの健康証明義務化、10日に延期＝香港から深セン入境時（4/7）
- ・ 武漢国際空港で8日に国内線運航再開＝新型コロナで2カ月半ぶり（4/8）
- ・ 香港非居住者の入境禁止措置を延長（4/8）
- ・ 武漢封鎖、2カ月半ぶり解除＝居住区の外出制限継続＝中国（4/8）
- ・ 新型コロナ、猫にも感染＝飼い主から＝湖北省（4/9）
- ・ 広州市、アフリカ人コミュニティで爆発感染か＝広東省（4/9）
- ・ 広州交易会、6月にオンライン開催＝広東省（4/9）
- ・ 香港、「5人以上の集合禁止」延長＝マッサージ、エステ店も休業へ（4/9）
- ・ 黒竜江省への国外感染者の流入急増＝ロシア国境の綏芬河市、仮設病院準備（4/10）
- ・ 香港、隔離10日後は自宅待機に＝収容施設空き少なく（4/13）
- ・ 香港、6月から観光客受け入れ再開か＝HKTB（4/15）
- ・ 香港、3月旅客数、前年同月比98.6%減＝香港政府観光局（4/16）
- ・ 中国全人代、5月開催か＝コロナで延期（4/17）

○商業

- ・ 2月の香港小売売上高、44%減＝下げ幅拡大＝統計局（4/1）
- ・ ラッキンコーヒー、粉飾決算で社内調査＝株価は76%急落（4/7）
- ・ 中国4大都市の中古住宅価格、軒並み下落（4/8）
- ・ オフィス空室率、過去最悪水準に＝新型コロナで＝上海市など（4/14）
- ・ 高級レストラン、上海店閉鎖相次ぐ＝新型コロナショックで（4/15）
- ・ 新築分譲住宅、1～3月は販売面積半減＝中国主要60都市（4/16）
- ・ 香港小売店25%が年内閉鎖か＝1万人超の解雇予想も＝業界団体調査（4/20）

○製造

- ・ トヨタ、中国全4工場を通常操業に＝天津も部品調達にめど（3/30）
- ・ 3月のトヨタ中国新車販売、15.9%減＝2カ月連続で2桁の落ち込み（4/7）
- ・ 日産自、3月の中国新車販売は44.9%減＝新型コロナ影響（4/8）
- ・ 3月ショベル販売11.6%増＝工事再開で（4/9）
- ・ 3月の中国乗用車販売、4割減＝新型コロナ、部材調達リスクを懸念＝業界団体（4/10）
- ・ ベトナムなどに拠点シフト進む＝コロナ感染が中国リスクの「目覚まし」（4/10）
- ・ 中国建機大手、ショベルを値上げ＝新型コロナで部品輸入が停滞＝江蘇省（4/15）

○運輸

- ・ 浦東空港、2月利用者は81.5%減＝新型コロナで＝上海市（3/19）
- ・ 中国行き国際線、1国1路線に＝運行は週1便（3/27）
- ・ 中国、航空貨物運賃が高騰＝水際対策強化、フライト削減で（4/3）
- ・ 香港、空港管理局、航空業界に20億ドルの追加支援（4/14）
- ・ 香港物流業「3カ月後に5割倒産も」＝業界代表（4/16）
- ・ 中国空運業、新型コロナで398億元の損失＝1～3月期（4/17）

<出所：時事速報・NNA>

東アジア駐在員コラム

—香港における新型コロナウイルスへの対応状況—

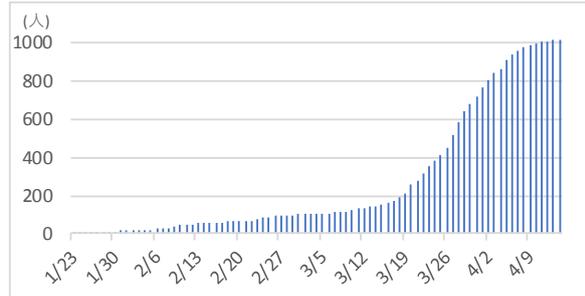
今月は、香港の感染者数の状況や市内の様子についてレポートいたします。

1. 感染者数の推移と政府発表

香港では、保健衛生署（Center for Health Protection）が公式ホームページで、感染者や入院者数を公表し、日々更新しています。また、感染者が利用した交通機関や施設の詳細も公表されるため、これらの情報を参考に感染者との濃厚接触が疑われる香港市民の特定が進められています。

香港は、SARS¹での経験を活かして、政府が早期に予防措置を取ったことで、他国に比べ感染拡大の抑制が見られています。感染が広がった他地域からの入境者が増加した影響から、3月中旬に感染者は急増しましたが、政府は香港市民以外の入境を制限するなどの措置を取ったことで、4月中旬には1日当たりの感染者は1桁台まで減少し、再び落ち着きを取り戻しています。

【図表1】香港感染者数推移



出所：香港保健衛生署発表より香港駐在員事務所にて作成
(URL:<https://www.coronavirus.gov.hk/eng/index.html>)

2. 市内の様子（4月中旬）

香港では、完全な都市封鎖は行われておらず、最低限の経済活動は継続されています。政府は、公共の場における5人以上の集会を禁止し、飲食店に対しても座席の利用を定員の50%以下に制限するなどの措置をとっていますが、飲食・小売業は営業を継続しています。しかし、バーなどの酒類を提供する店舗やカラオケ・麻雀荘などの娯楽施設の営業は停止されており、夜の繁華街は閑散としています。

政府は、違反者への罰則規定を設け、厳格な対応をとっています。今後も、経済活動の維持と感染予防とを両立させるために、制限された中での生活が続くことが予想されます。



<飲食店：座席の利用は、定員の50%以下に制限>

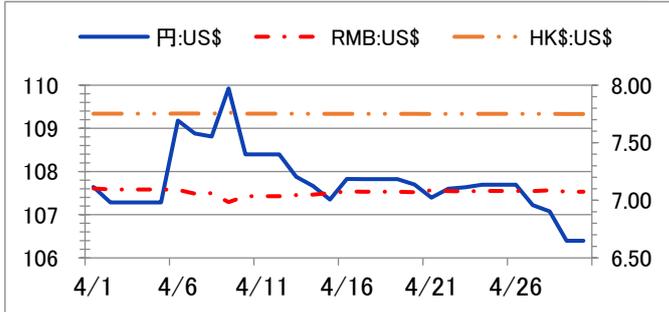
(足利銀行香港駐在員事務所 駐在員 鈴木庸之)

¹ 重症急性呼吸器症候群の英語での名称。2002年11月から2003年7月にかけて中国広東省と香港を中心に流行し、香港では299人の死者が発生した。

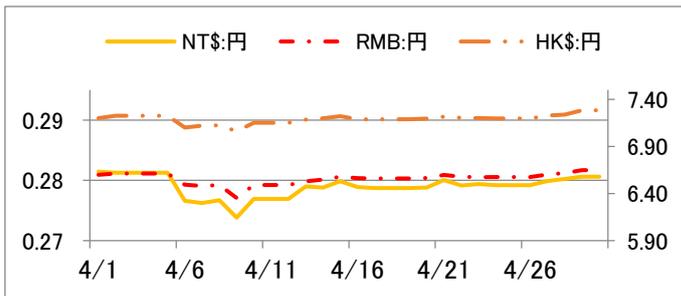
株式市場・為替情報

1. 為替市場

	月初	高値	安値	月末		月初	高値	安値	月末
円/米ドル	107.64	109.92	106.40	106.40	人民元/100円	6.5990	6.6490	6.3530	6.6490
人民元/米ドル	7.1034	7.1034	6.9839	7.0738	香港ドル/100円	7.2010	7.2830	7.0610	7.2830
香港ドル/米ドル	7.7516	7.7614	7.7488	7.7488	台湾ドル/円	0.2815	0.2815	0.2738	0.2806



出所：中国外貨管理局（人民元）および時事通信参考値（人民元以外）



【為替市場レビュー】

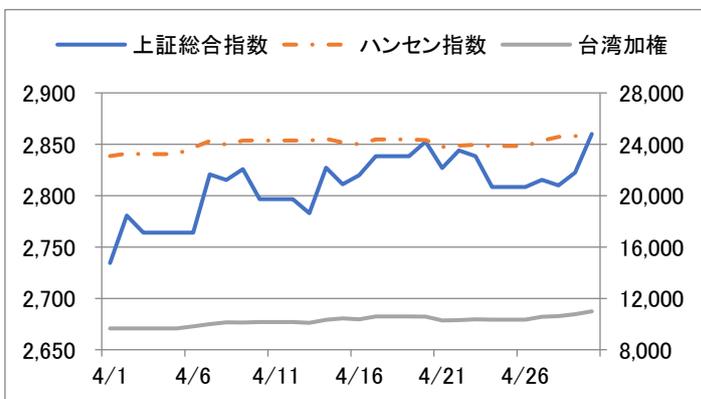
・17日に発表された実質GDP成長率（1Q）は▲6.8%と大幅なマイナス成長へ転じた一方、30日の製造業PMIは2カ月連続で節目の50を上回るなど、足許の回復基調が明らかになった。世界的に為替市場のボラティリティが高まるなか、人民元相場は元安地合で一定の落ち着きをみせた。

【為替市場の見通し】

・中国経済の回復が市場予想を上回った場合、元高圧力が高まる展開もあり。米大統領選に向けてウイルス発生源を巡る中国批判が激化しており、米中対立の動向にも注目。

2. 証券市場

	月初	高値	安値	月末
上海総合指数	2,734.52	2,860.08	2,734.52	2,860.08
香港ハンセン指数	23,085.79	24,643.59	23,085.79	24,643.59
台湾加権指数	9,663.63	10,992.14	9,663.63	10,992.14



出所：各証券取引所

【証券市場レビュー】

・4月の上海総合指数は原油相場の急落などで一時方向感を欠く場面があったものの、国内における新型肺炎感染拡大のピークアウトや金融・財政政策が好感されたことなどから回復基調を辿り、およそ1ヶ月半ぶりの高値で引けた。

【証券市場の見通し】

・国内の景気回復動向や海外での感染拡大状況などが今後の判断材料となる。5月22日からの開催が決定した全人代に期待が高まる一方、巨額の財政出動には債務拡大への警戒感も聞かれるなど、中国政府の動向に注目が集まる。

めぶき FG アジアネットワークのご紹介

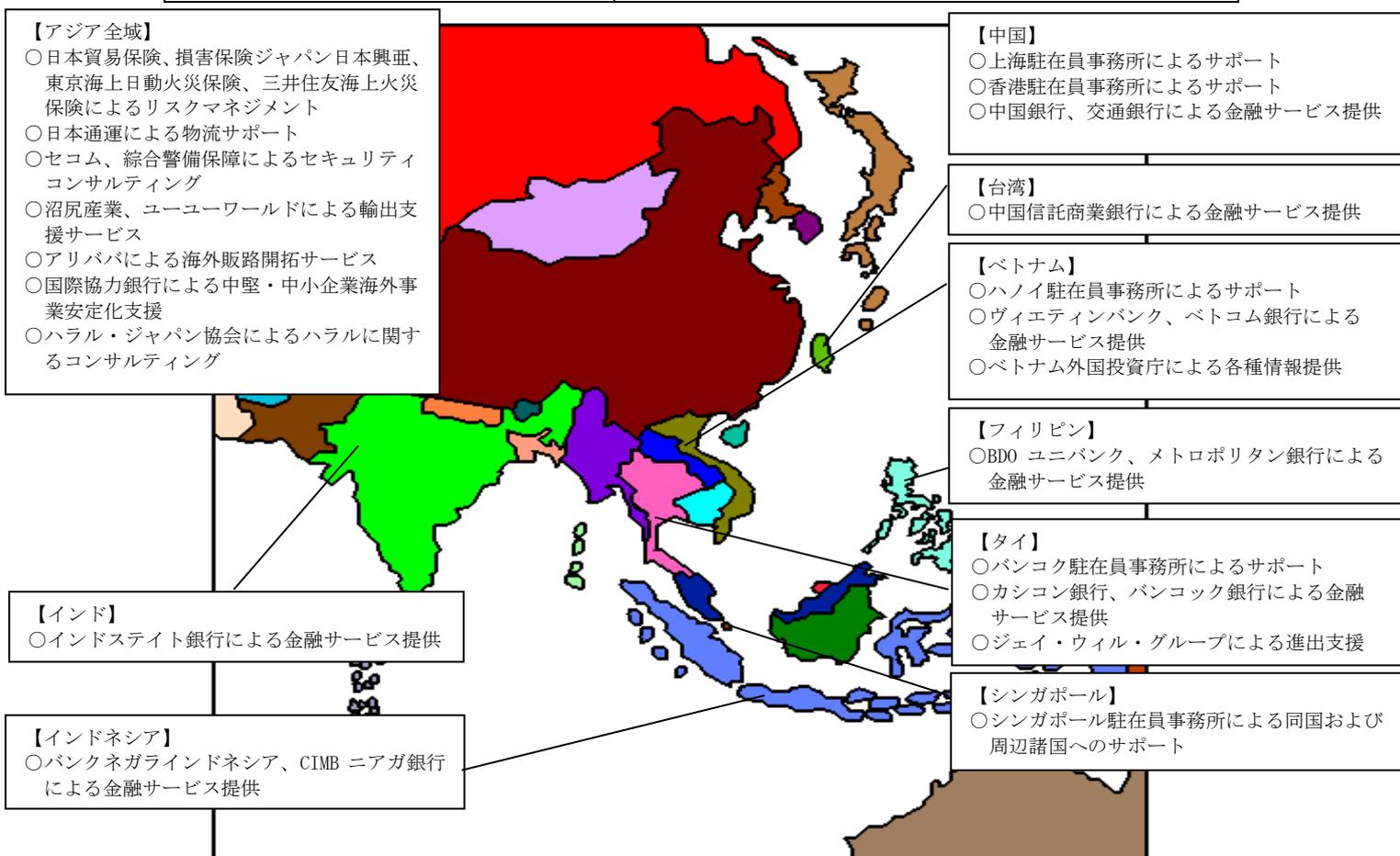
お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア （インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMB ニアガ銀行 （インドネシア）		●	
ヴィエティンバンク （ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁 （ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDO ユニバンク（フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 （フィリピン）		●	
インドステイト銀行 （インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか（メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損保ジャパン日本興亜	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティサービスの提供

◎めぶき F G 海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール駐在員事務所	63 Market Street, #11-03 Bank of Singapore Centre Singapore 048942 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 1901 室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at Emquartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok, Thailand 10110 TEL:+66-2-261-2852



めぶき FG イベント情報

【FBC 深セン 2020 ものづくり商談会 in SIMM 深セン国際機械展】 <募集終了>

日 程	2020年5月14日(木)～17日(日)
開催国	中国(広東省深セン市)
会 場	深セン国際会展中心(宝安新館)4号館
概 要	本商談会は、中国での販路拡大や部材調達を希望する日系ものづくり企業(部品・加工企業のみ)を対象とする商談会で、出展企業(50社限定)が4日間にわたり自社製品等をPRし、約10千名のバイヤー来場を予定しています。 ご出展を希望される方は以下の照会先までご連絡ください。 ※出展申込受付は終了いたしました。
費 用	5,000 人民元/1 コマ(当行経由の割引価格)
照会先	常陽銀行 上海駐在員事務所 TEL +86-21-6209-0258 常陽銀行 市場国際部 国際業務室 各担当者 TEL 029-300-2728～2730 または、海外進出相談フリーダイヤルまで TEL 0120-593128

【FBC 広東 2020 ものづくり商談会 in 南海】 <募集開始前>

日 程	2020年7月22日(水)～23日(木)
開催国	中国(広東省佛山市)
会 場	インターコンチネンタル佛山
概 要	本商談会は、中国での販路拡大や部材調達を希望する日系ものづくり企業等を対象とする商談会で、約200社の出展企業が2日間にわたり自社製品等をPRし、約2千名のバイヤー来場を予定しています。 ご出展を希望される方は以下の照会先までご連絡ください。 出展申込期間は5月29日(金)までを予定しています。
費 用	無料/1 コマ(当行経由の場合) ただし、保証金1,500 人民元/1 コマ(展示会終了後に返金)
照会先	常陽銀行 上海駐在員事務所 TEL +86-21-6209-0258 常陽銀行 市場国際部 国際業務室 各担当者 TEL 029-300-2728～2730 または、海外進出相談フリーダイヤルまで TEL 0120-593128

【FBC 重慶 2020 ものづくり商談会 in 重慶国際自動車部品展覧会】 <募集開始前>

日 程	2020年9月23日(水)～25日(金)
開催国	中国(重慶市)
会 場	重慶国際博覧中心
概 要	本商談会は、中国での販路拡大や部材調達を希望する日系ものづくり企業(自動車部品企業のみ)を対象とする商談会で、出展企業(50社限定)が3日間にわた

	り自社製品等をPRし、約2万名のバイヤー来場を予定しています。 ご出展を希望される方は以下の照会先までご連絡ください。 出展申込期間は5月29日（金）までを予定しています。
費用	3,000 人民元／1 コマ（当行経由の割引価格）
照会先	常陽銀行 上海駐在員事務所 TEL +86-21-6209-0258 常陽銀行 市場国際部 国際業務室 各担当者 TEL 029-300-2728～2730 または、海外進出相談フリーダイヤルまで TEL 0120-593128

【FBC 上海 2020 ものづくり商談会】 <募集開始前>

日程	2020年11月3日（火）～6日（金）
開催国	中国（上海市）
会場	上海新国際博覧中心
概要	本商談会は、中国での販路拡大や部材調達を希望する日系ものづくり企業等を対象とする中国最大級の商談会で、約300社の出展企業が4日間にわたり自社製品等をPRし、約2万5千名のバイヤー来場を予定しています。 出展対象は、自動化・ロボット、自動車関連、電子電機、環境・省エネ、機械設備など製造業全般となっています。 ご出展を希望される方は以下の照会先までご連絡ください。 出展申込期間は6月30日（火）までを予定しています。
費用	8,500 人民元／1 コマ（当行経由の割引価格）
照会先	常陽銀行 上海駐在員事務所 TEL +86-21-6209-0258 常陽銀行 市場国際部 国際業務室 各担当者 TEL 029-300-2728～2730 または、海外進出相談フリーダイヤルまで TEL 0120-593128